

平成18年 第2回 対馬市議会定例会

平成18年第2回対馬市議会定例会が6月16日に開かれ、平成18年度対馬市一般会計補正予算(第1号)など26件の議案が上程されました。提出された議案は、すべて原案のとおり承認・可決され、23日に閉会しました。

対馬市の機構改革案が可決！  
観光商工部、農林水産部を新たに設置、厳原支所を本庁に統合

本定例会では、部設置条例を改正し、現行の産業交流部を、観光商工部と農林水産部の2部に分割。また、支所及び出張所条例を改正し、厳原支所を本庁に統合いたします。また、10月開館予定の対馬市交流センター設置に伴う条例の一部改正や対馬市立図書館設置条例の制定、工事請負契約の締結議案なども可決されました。

機構改革の主な内容

対馬市部設置条例にかかる機構改革

産業交流部	観光交流課	観光商工部
	商工課	
	農林課	農林水産部
	水産振興課	

対馬市支所及び出張所設置条例にかかる機構改革  
厳原支所 → 本庁

地域振興課	公印の管守・広報広聴等	総務部
	地域審議会等	政策部
	農林水産の振興、入会林野等	農林水産部
住民生活課	戸籍・福祉・医療保険等の窓口業務等	市民生活部

対馬市の

人事異動

6月30日付退職

財部能成(政策部政策企画課) 上野優美子 俵嘉彦  
(以上厳原支所住民生活課)

7月1日付異動

氏名後の( )内は旧所属

【市長事務局・本所関係】  
《総務部》 部長「中島均(産業交流部長)」「総務課」(総務班) 主任「手束宏子(厳原支所地域振興課)」「政策部」 理事(市民協働担当)「木寺和福(厳原支所長兼地域振興課長)」「市民生活部」 理事(窓口サービス向上対策担当)「内田洋(総務部長)」「市民課」 課長「橋本政次(同課長兼厳原支所住民生活課長) 主幹(市民生活班担当)」「柴田由美子(厳原支所住民生活課)」「市民生活班」 参事兼課長補佐「長信夫(同課) 副参事「川辺真由美(同課) 西村明子(厳原支所住民生活課) 主任「田口憲一、原智佳(以上同課) 阿比留裕介(総務部入札契約課)(福祉保険班) 参事兼課長補佐

佐「箱崎政幸 参事「平間千恵(以上厳原支所住民生活課) 主任「横松美穂(厳原支所住民生活課) 西村健(上県支所地域振興課) 阿比留満也(保健部保険課)」「観光商工部」 部長「長信義(産業交流部理事) 理事(対馬市交流センター担当)「根ノ憲治(産業交流部理事)」「観光交流課」 理事兼課長「辻宏幸(産業交流部理事兼同課長) 観光班) 課長補佐「平山祝詞 副参事兼係長(県観光連盟派遣)「村井英哉 主任「桐谷優 主事「金子舞、小森周一(以上産業交流部同課) (国際交流班) 参事兼課長補佐「梅野菊次 主事「立花讓偉(以上産業交流部同課) (自然共生班) 課長補佐「平山哲正 副参事兼係長「玖須博一(以上産業交流部同課)【商工課】 課長「武田延幸(産業交流部同課長) (商工流通班) 参事兼課長補佐「三宅一郎 主任(県福岡事務所派遣) 扇徹弥 主任「岩佐哲也 主事「扇哲実(以上産業交流部同課) (企業誘致班) 課長補佐「阿比留裕史 主事「小島繁樹(以上産業

交流部同課) 部長「神宮忠彌(産業交流部理事)【農林課】 課長「廣田宗雄(産業交流部同課長) (農林振興班) 参事兼課長補佐「小島太美男(厳原支所地域振興課) 課長補佐(併任)「里中秀明、溝口聖(以上産業交流部同課) 副参事兼係長「黒岩慶有(厳原支所地域振興課) 一宮努(産業交流部同課) 主任「時津秀樹(厳原支所地域振興課) 主事「扇伸秀(産業交流部同課) (農林土木班) 参事兼課長補佐「斉藤正敏(厳原支所地域振興課) 副参事兼係長「竹本忠義 主任「川崎仁(以上産業交流部同課) (有害鳥獣対策班) 課長補佐「永野清利 主任「高司道尚(以上産業交流部同課)【水産振興課】 課長「川本治源(産業交流部同課長) 副参事兼係長「波田安徳、井田幸伸 主事(県水産振興課派遣)「松村聡也 主事「杉村修一、武末修一(以上産業交流部同課) 《上県支所》【地域振興課】 係長「犬束卓也(産業交流部農林課)

交流部同課) 部長「神宮忠彌(産業交流部理事)【農林課】 課長「廣田宗雄(産業交流部同課長) (農林振興班) 参事兼課長補佐「小島太美男(厳原支所地域振興課) 課長補佐(併任)「里中秀明、溝口聖(以上産業交流部同課) 副参事兼係長「黒岩慶有(厳原支所地域振興課) 一宮努(産業交流部同課) 主任「時津秀樹(厳原支所地域振興課) 主事「扇伸秀(産業交流部同課) (農林土木班) 参事兼課長補佐「斉藤正敏(厳原支所地域振興課) 副参事兼係長「竹本忠義 主任「川崎仁(以上産業交流部同課) (有害鳥獣対策班) 課長補佐「永野清利 主任「高司道尚(以上産業交流部同課)【水産振興課】 課長「川本治源(産業交流部同課長) 副参事兼係長「波田安徳、井田幸伸 主事(県水産振興課派遣)「松村聡也 主事「杉村修一、武末修一(以上産業交流部同課) 《上県支所》【地域振興課】 係長「犬束卓也(産業交流部農林課)

## 対馬沖海戦101周年 追悼慰霊祭

東郷平八郎  
ロジェスト・ウエンスキー

平和を願い両提督の  
ひ孫が固い握手



がっちり握手するロジェスト・スペチンスキーさんと保坂（旧姓東郷）宗子さん

1905年、今から101年前に日本の連合艦隊とロシアのバルチック艦隊が戦った日本海海戦（対馬沖海戦）の戦没者約5000名を追悼する慰霊祭が、5月27日、上対馬町殿崎の「平和友好の丘」で開催されました。

慰霊祭には、多くの参列者と共に両提督のひ孫である保坂（旧姓東郷）宗子さんとロジェスト・スペチンスキーさんも出席。祖国の為に尊い命を捧げた戦没者へ、追悼の祈りを捧げました。

2人は、慰霊祭を主催した民間団体の対馬・歴史顕彰事業推進委員会（武末裕雄委員長）からの招きにより来島。慰霊碑に献花を行った後、負傷したロジェスト提督を東郷平八郎連合艦隊司令長官が病床で見舞うシーンが彫られた「平和と友好の碑」の前で、固い握手を交わしました。

ひ孫同士により101年ぶりに再現された感動のシーンに、参列者たちも感慨深げでした。

保坂宗子さんは「日本海海

戦に参戦した両国の軍人の子孫が、戦没者を弔うことができたことは大変意義深い。先人が命を捧げ苦勞して築きあげた今日の平和を守り続けることの大切さを忘れず、これからも日露両国の友好を大切にし、世界平和の訪れを願ってやみません」とコメント。



記念植樹

一方、ロシアのサンクトペテルブルグより来島したロジェスト・スペチンスキーさんは、「対馬に来ることは子供の頃からの夢だった。夢が実現でき、皆さんに心から感謝しています。子供の頃から絵で見ていた両提督の握手のシーンがレリーフとして残され、対馬の名所の一つとなっていくことに非常に感激しました」と話していました。

その後、2人は日露両国及び世界の平和を願い、同地で記念植樹を行いました。

## 韓国駐日大使らが、対馬市を訪問



会談する羅鍾一大使と松村市長



キムヨンソ  
金榮昭福岡総領事（中央）と大使婦人（左）

6月9日、韓国の羅鍾一駐日大使夫妻と、金榮昭福岡総領事ら4名が対馬市役所を表敬訪問し、松村市長と会談を行いました。

「どうですか？」など、市長に質問を行いました。

終始和やかな雰囲気で行われた会談では、対馬と朝鮮との古くから続く交流の歴史が話題となり、羅大使が「朝鮮通信使が釜山を出て対馬へ到着するまでどのくらい時間がかかりましたか？」「私が釜山に住んでいた時、天気が良いければ対馬が見えましたが、対馬からも釜山が見えますか？」「日本では、ゴルフや温泉を楽しむ韓国人観光客が多くなっていますが、対馬では

い日本や韓国の都市部に住む人々たちに、癒しを提供することで元気な対馬を創出しようというのが、私どもの狙いです」と、まちづくりに関する基本方針などを説明し、ぜひ、また対馬に来て下さい」と大使に話しかけました。

一行は会談後、雨森芳洲の墓地や万松院、歴史民俗資料館などを見学し、空路で長崎へ向かいました。

# あじさい祭・パラグライダーディング対馬大会



あじさいロードでウォーキングを楽しむ参加者

上県町佐護で恒例のあじさい祭が6月11日に開催され、千歳峠山せんじゆうまげやまのふもと、海沿いに延びる林道（通称あじさいロード）で、約300名の参加者が道路沿いに咲くあじさいを観賞しながら、ウォーキングを楽しみました。参加者たちは、初夏のすがすがしい潮風を受けながら、勾配のきつい坂を自分のペースでゆっくりと歩いていました。

また、祭のメイン会場の湊浜シーランドステージでは、コーラの早飲み大会、ピンゴゲーム、対州馬の体験乗馬と共に、島根県より招いた石見神楽、幼稚園児たちのお遊戯、上対馬高校プラスバンド部やアマチュアバンドによる演奏などが披露され、約3000人の来場者を楽しませました。

今年で4回目となるあじさい祭。昨年からは、パラグライダーディング対馬大会と同時開催するなど、地元佐護区の住民あげてのお祭として、年々盛大になってきています。

祭を主催したあじさい祭・パラグライダーディング対馬大会実行委員会の小宮政利会長は「今年からは対馬野生生物保護センターの協力が得られ、大変うれしく思ってる。また、毎年パラグライダーディング大会に協力して頂いている陸上自衛隊にも感謝したい。数少なくなった対馬北部地区のイベントの中、対馬の代表的な祭の一つとして地元と協力しながら、今後も盛り上げて行きたい」とふり返りました。



ウォーキングの途中、水分を補給する参加者たち



迫力ある演技で、場内を盛り上げた石見神楽



上対馬高校プラスバンド部



子供に大人気のツシマヤマネコ



対州馬に乗る子供



保育園児によるかわいいお遊戯

対馬の美しい山並みと青く輝く海を眺めながら、標高約280mの千俵峠山の山頂から舞い上がる色とりどりのパラグライダー

今回で4回を数えるパラグライダーディング対馬大会が6月10日・11日の2日間、上県町佐護の千俵峠山を舞台に開催されました。

大会には韓国から9名と長崎、大分、福岡から29名、また、地元で活動しているスカイクラブ対馬のメンバー7名の計45名がエントリー。山頂



対馬の空を華やかに彩るパラグライダー

からテイクオフし、1km程先のランディングポイントへの着陸の正確さを競いました。風の強さや風向が安定せず競技には難しい条件となった大会初日でしたが、コンディションが回復した隙間をぬって33名の選手が計55本のフライトを行いました。

選手たちは、風を受けて大空に舞あがるパラグライダーを巧みな操作で操り、目標の着陸地点へ向けてしばしの空中散歩を楽しんでいました。残念なことに大会二日目は



着陸態勢に入ったパラグライダー

強風のため競技と一般客を対象とした体験飛行が中止されました。

競技結果は、3大会連続で韓国選手が優勝するなど実力を発揮。続いて長崎県勢が上位を占める中、対馬で唯一のパラグライダーングクラブであるスカイクラブ対馬の福島利弥選手が地元の地の利を活かし、5位に入賞する快挙を達成しました。



表彰を受ける上位入賞者たち  
右端が福島利弥選手



大会結果【敬称略】

優勝〃キム・ヨンチェ（韓国） 2位〃ヒョン・シチョン（韓国） 3位〃井手敦郎（長崎県） 4位〃吉村豊明（長崎県） 5位〃福島利弥（対馬） 6位〃嶋田勝海（長崎県）

## 市長の動き

《6月》

- 3日〃対馬市長杯親善交流グ  
ラウンドゴルフ大会
- 3〃4日〃関西対馬会総会  
（大阪）
- 5〃7日〃全国市長会  
（東京）
- 8日〃対馬空港ターミナルピ  
ル役員会・株主総会
- 9日〃駐日韓国大使来島
- 11日〃対馬市中学校体育大会  
（陸上）
- 13日〃対馬物産開発理事会・  
総会、対馬真珠養殖漁  
業協同組合総会
- 14〃15日〃県漁港漁場協会総  
会（長崎）
- 16〃23日〃対馬市議会定例会
- 18日〃対馬市消防操法大会
- 21日〃郵便局と地方自治体と  
の協議会
- 24〃25日〃立命館大学での講  
演（京都）
- 26〃27日〃県離振・過疎協議  
会同陳情（東京）
- 28日〃市政説明会（仁田）
- 29日〃市政説明会（佐賀）
- 30日〃退職辞令交付